

内部に特別な“メッセージ”や“装飾”を閉じ込めた革新的サプライズケーキの商品開発

■本事業への経緯

久留米市内に飲食店を2店舗展開

久留米市を中心に飲食店を2店舗展開している。第1号店は、2005年に开店した「フランス酒場ルプー」で、主にフランス料理とワインをカジュアルに楽しめるフランス風居酒屋として人気を集めている。2フロアで105人を収容できる大型店でパーティーや結婚式の2次会などもよく開かれている。月に1500人超が来店する人気店だ。

2号店は、ワインとスペイン料理のタパス（小皿料理）を気軽に楽しめる「スペインバルピック」。40人収容の小型店だが、月に800人が来店する。

2店とも久留米駅に近く、女性客の利用が7割を超え、ママ会、女子会、お誕生日会、歓送迎会、各種2次会、個人使いなどで利用されている。

■事業の内容

3Dプリンターを使い他社と差別化できるサプライズケーキを開発

2店舗ともに、人気店として地元に根付いているが、福田社長は経営者として課題も感じていた。飲食店は地域性や景気、天候などにも売り上げが左右される。そのため、強い来店動機を覚えてもらい、しかも、他店との差別化を図ることが出来る商品やサービスの開発が必要だと考えていた。

来店動機となり得るものとしては、誕生日や記念日などのお祝事がある。特に誕生日や長寿を祝う慶事などでは、本人を祝う関係者が集まる機会となることから、こうした記念日の需要を取り込むことができれば、経営上の見通しが立てやすくなる。同社の店舗にも毎日、記念日を祝うために来店する客がある。しかし、こうした記念日については、競合店も様々な工夫を凝らして来店を促す市場だけに競争も激しい。

そこで考案したのが、ケーキの内部にメッセージを入れた



1号店のフランス酒場ルプー。



2号店のスペインバルピック。

「内部装飾の革新的サプライズケーキ」である。外見は普通のケーキだがケーキを切ると、中からメッセージが現れるというこれまでにない画期的なものだ。祝福される本人は、サプライズケーキに驚き、中からメッセージが出てくるとさらに驚くことになる。

このケーキを商品化するには、職人の技術が必要となる。しかし、今回は、3Dプリンターやレーザーカッター等を導入して、解決を図ることにした。

■事業の成果

試作品づくりで失敗を重ね、試作品開発に成功

オーダーしたメッセージや装飾をケーキ内部に閉じ込めるカスタムメイドのケーキづくりに3Dプリンターを活用することにより、熟練のパティシエでなくても製作可能になるのだ。しかし、実際に3Dプリンターを導入したものの思うように型ができない。当初ケーキのスポンジ生地を図柄通りにレーザーカッターでカットして外側の生地に埋め込む予定だったが、柔らかく水分を含む生地では思うようにカットできず、生地が焦げてしまった。次に、焼き型を3Dプリンターで製作しオープンで焼いてみた。焼型では生地の抜けが悪く、型もオープンの熱で変形してしまう。

この失敗で、プロジェクトは暗礁に乗り上げた。解決策のないまま時間が過ぎた。そうした時、パティシエからのアイデアが光を与えた。焼き型ではなく抜き型を3Dプリンターで作成し、スポンジ生地をくり抜くというものだ。くり抜いた生地に一度焼成して生地にしたものを粉碎した特殊な生地を詰め、デザイン文字を表現した。この粉生地をきれいかつ簡単にくり抜いた部分に詰めるためにレーザー加工機により作成した型を使う。そして、スライスした生地をもとの形に



革新的サービス

株式会社アルテレゴ（久留米市）

戻し、全体をクリームで覆った。型抜きが綺麗にできるスポンジ生地や型抜きがしやすいよう細くて堅い型の研究も行った。

こうして「内部装飾の革新的サプライズケーキ」は完成した。スライスした生地一枚一枚に別のメッセージを入れることが可能になった。もちろん、一つのメッセージをケーキ全体に入れることも可能である。このように焼き型から抜き型に変えることによって、型をオープンに入れる必要もなくなり、溶ける心配もないので、一度作成した型は繰り返し使用することができるようになった。コスト面も下がり、デザインの幅も広がったのだ。

■今後の課題・展望

ネット販売で日本中に販売

商品化したサプライズケーキは、「サプライズケーキ工房 アルテレゴ キュイジヌ」の店名でサイトを作り、インターネットを使って全国に向けて販売を始めた。商品の面白さが受けて、SNSなどで発信されるなど認知度も高まり、東京など遠方でもクリスマスや誕生日などのサプライズケーキとして喜ばれている。

当然、経営する飲食店でも販売しているが、今後は「フランス酒場ルプー」店内の一部にカフェ「フレンチF a bルプー」を開店前の昼間にオープンし、3Dプリンターとレーザー加工機を店舗に設置する計画だ。そうなれば、お客が自由にデザインを楽しむことができる空間となるだろう。

現在、表現できる抜き型は、アルファベット、絵文字、それにカタカナも一部だが、将来的には漢字の抜き型をつくって、海外にも販路を広げていきたいと思いをさせている。



3Dプリンター



ケーキをカットするとメッセージが現れる。SNSなどでもユーザーが情報を発信し、話題になっている。



文字を埋め込むだけでなく、中から文字などが飛び出してくる仕掛けもできる。



福田 聖一 社長

レーザーカッターを使って名入れなども喜ばれているサービスだ。

企業概要

会社名	株式会社アルテレゴ	設立	平成27年7月
住所	福岡県久留米市東町31-19 古田ビル2F	事業内容	飲食店経営、菓子製造販売
代表者	福田 聖一		
連絡先	0942-32-7700	従業員数	12人
資本金	100万円	ホームページ	https://alterego.co.jp/